

うちの週末 vol.5

～気ままに子どもと森あそび♪～

こんにちは。御代田町在住のチェリーです。

最近次男を見ながら思うことがあります。我が家の次男は、実に興味津々。気になったものがあればその瞬間に手が出て触ったり食べたり、赤ちゃんの時からそれはいろいろやってくれました。階段に宙づりになったり、柵に頭が挟まって抜けなくなったり、崖から落ちたり。明日は無事でいてくれるだろうか・・・と思ったこともしばしば。病気で心配事が絶えない長男と対照的な次男ですが、我が家の中ではパパにそっくりということになっています。でも、実は私の子ども時代にそっくり?!私の幼稚園ぐらいまでの写真は、ほとんどが派手にケガをしています。今でも実家に帰ると近所のおばちゃんたちに言われることですが・・・、3歳の時には近所の友達と一緒に、片道3キロほど離れた隣の公園まで行き先も告げずに出かけてしまい、夜になってマンション中の住人と警察が探しまわる騒ぎに。ものすごく怒られたはず。でも、そこは覚えていなくて、おやつにラムネを持っていたことと、この日の夕食がうどんだったこと、楽しい道中が断片的に記憶に残っています。好奇心と冒険心に溢れた男の子のようなお転婆女子だったわけですが、それはナイショ!やっぱり次男はパパ似ということで(笑)

さて今回は、最近実現した嬉しい出来事についてお話します。自然環境に恵まれた御代田町での子育て。でも、一つだけ残念だなと思っていたことがありました。それは、「○○くん、あーそーぼー!!」と子どもたち同士で家を行き来して遊ぶような、近所の友達との交流がないことです。そんな折り、ご近所に外国で生まれ育った4歳の男の子が引っ越してきました。まだ日本語も上手に話せない彼ですが、保育園が同じことが分かってから、お互いの家を行き来するようになったのです。

週末になると、庭側の窓から「あーそーぼー!!」と誘ってくれるように。そうすると、息子たちは慌てて宿題を終わらせて、喜んで出かけて行きます。言葉がどのくらい通じているのかは分かりませんが、子どもたちには全く関係ないようで、何やら楽しく遊んでいます。兄弟にお友だちが一人加わるだけで力関係が変化し、喧嘩がなくなるから不思議です。急坂を自転車を下りて止まらずに木にぶつかってケガをしたり、帰る時間を忘れて遅くまで家に上がり込んだり。約束を守らなかったり、危ない遊びをしていたりして、私やご近所の方に叱られるわけですが、家族以外の大人が叱ってくれたり、気にかけてくれたり、諭してくれたり、そんな人間関係が有り難いなあと感じています。

